

2019年11月18日
〒484-0000 愛知県犬山市字樋池 61-22
名古屋経済大学 図書館発信

名古屋経済大学図書館で、犬山市立図書館との連携事業 「レオナルド・ダ・ヴィンチ展 ー没後 500 年ー」を開催



名古屋経済大学図書館では、犬山市立図書館との連携事業として、11月16日（土）から12月20日（金）まで図書館1階エントランスホールで「レオナルド・ダ・ヴィンチ展 ー没後 500 年ー」を開催しています。

これは、イタリア・ルネサンス期の画家、発明家、科学者で、万能の天才、レオナルド・ダ・ヴィンチの没後 500 年を記念して、彼が遺した貴重な手稿を中心として展示するものです。名古屋経済大学図書館の会場では、手稿として、同図書館が所蔵している『解剖手稿』と『素描集』の他、1974年に日本で開催された最初で最後の『モナ・リザ展』カタログやチケットなど関連資料も展示しています。来場者は、『モナ・リザ』と『最後の晚餐』の記念撮影用顔はめパネルを使って撮影し、図書館の中に貼られているレオナルドに関するクイズに答えて、天才の多彩な世界を楽しめるように構成されています。

『解剖手稿』と『素描集』は、ともに英国ウィンザー城王室図書館が所蔵するレオナルドの手稿のファクシミリ版です。『解剖手稿』は、約30年間の作品で、事実上独力で人体の構造を探求した記録であり、彼が残した図に付されたノートからは、剖出作業に難渋した様子が伺えます。『素描集』は、風景や植物、水の素描と考察、そして、レオナルドが最も親しんだ馬と、牛、犬、猫、竜などの動物を描いたもので、画家、科学者としてのレオナルドの手稿は、多くの来場者の関心を集めています。

以上